

# 第1章 調査の概要

## 1 調査目的

吹田市民の市政やまちづくりに関する意見や要望等を把握し、今後の施策や事業を検討するとともに、市政運営の基礎資料とします。

## 2 調査項目

- ①回答者の属性について
- ②回答者の居住地について
- ③余暇活動などについて
- ④市政情報やインターネットを活用した情報提供について
- ⑤医療について
- ⑥災害について
- ⑦吹田市のさまざまな取組や市政運営について
- ⑧市政や市のまちづくりに関する意見について

## 3 調査対象

- ①調査地域 吹田市全域
- ②母集団 令和4年(2022年)6月30日現在、18歳以上85歳未満の吹田市在住者
- ③標本数 2,000名
- ④抽出方法 層化系統無作為抽出法

## 4 調査期間

令和4年(2022年)8月5日(金)～令和4年(2022年)9月2日(金)

## 5 調査方法

郵送調査法(お礼兼督促1回、無記名方式)

## 6 回収結果

表 1.6.1 回収結果

配布数	件数 (人)	比率 (%)	備考
A 調査票発送数	2,000	—	
B 調査不能数【尋ね当たらず等】(補充)	4	0.2	調査不能(補充)率 = $B/A$ (予備標本より充当)
C 調査票到達数(調査対象者数)	2,000	—	
D 回収票数	1,179	59.0	回収率 = $D/C$
E 無効票数【無記入等】	3	0.2	無効票率 = $E/C$
F 有効回収票数	1,176	58.8	有効回収率 = $F/C$ ( $F = D - E$ )
G 未回収数	821	41.1	未回収率 = $G/C$ ( $G = C - D$ )

## 7 信頼区間

本調査では、全数調査ではなく標本調査であることから、標本誤差が生じることがあります。そのため、下記の計算式で「信頼区間」を求め、95%の確率で結果が収束する区間を算出します。

信頼区間 (95%) =  $\pm 1.96 \times$  標本誤差

$$\text{標本誤差} = \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

N=302,139  
 《母集団=吹田市の18~84歳人口》  
 n=1,176 《有効回答者数》  
 P=回答の比率 (%)

今回調査の標本誤差は、以下のとおりです。

表 1.7.1 今回調査の信頼区間(95%)

回答の比率 (P)	90% 10%	80% 20%	70% 30%	60% 40%	50%
信頼区間 (95%)	±1.71	±2.28	±2.61	±2.79	±2.85

※表 1.7.1 の見方：ある設問で、全体の回答が『80%』であった場合、80%を中心に±2.28、つまり、真の値は『77.72%~82.28%』の間にあると推定してよいが、その推定が正しい確率は95%です。

## 8 報告書の見方

- ・比率は全て、各設問の無回答を含む集計対象者数（副問では当該設問回答対象者数）に対する百分率（%）を表しています。1人の対象者に2つ以上の回答を求める設問（複数回答設問）では、百分率（%）の合計は、100.0%を超える場合があります。
- ・百分率（%）は小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示しています。1つだけ回答を求める設問（単数回答設問）では、四捨五入の関係上、各選択肢の百分率（%）の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・2つの選択肢を集約した場合（「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合計した『満足』など）は、該当選択肢の回答数の合計から割合を算出しているため、グラフに示した選択肢ごとに算出した割合の合計と一致しない場合があります。
- ・クロス集計による分析では、回答者数が10未満の項目については、全体結果と比率に大きな差がある選択肢があっても、本文中ではふれていません。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・本文や図表中の選択肢表記は、語句を簡略化している場合があります。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・問15（地域の環境についての満足度・重要度）、問54（市政の満足度・重要度）などの評価項目では、評価を要約的に示すため、回答数に得点を与え、平均評価点を算出（※算出方法についてはそれぞれのページを参照）しています。

## 第2章 回答者の基本属性

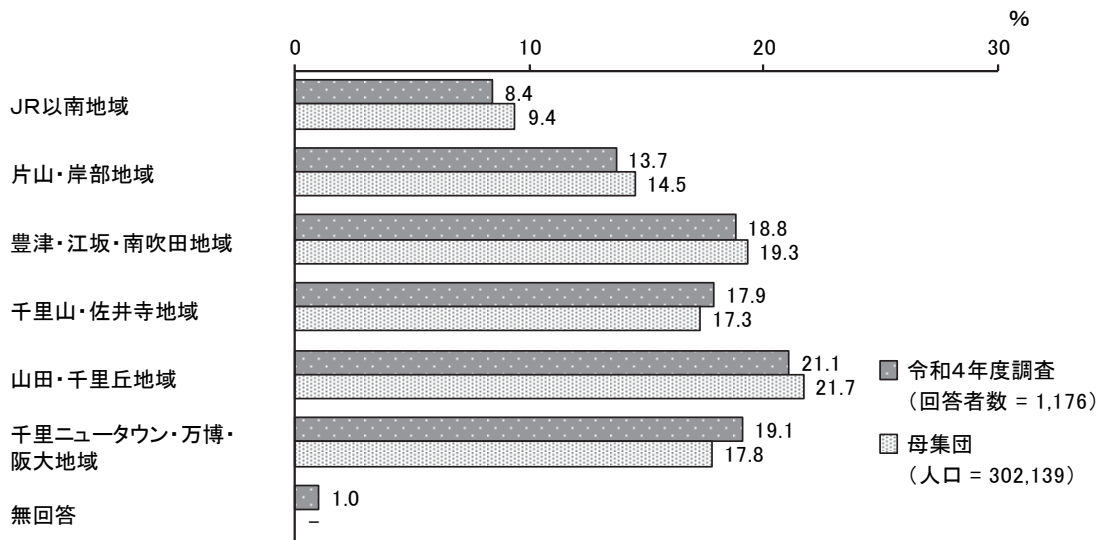
### 1 居住地域、性別、年齢

#### (1) 居住地域 (問1)

回答者の居住地域 (図 2.1.1) は、「山田・千里丘地域」の割合が 21.1%と最も高く、次いで「千里ニュータウン・万博・阪大地域」の割合が 19.1%、「豊津・江坂・南吹田地域」の割合が 18.8%となっています。

母集団と比較しても、両者の間に大きな差異はみられません。

図 2.1.1 居住地域



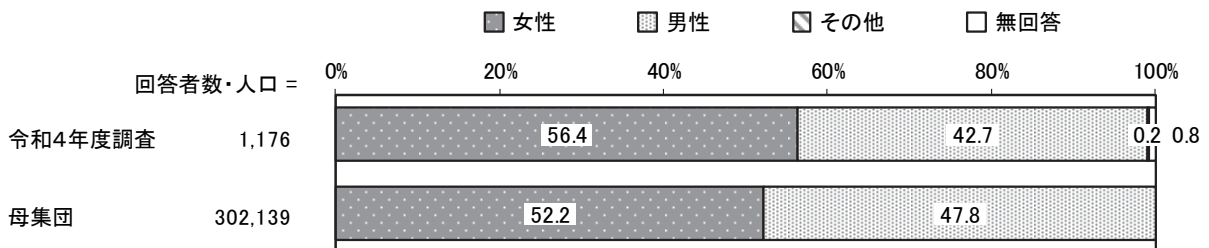
#### (2) 性別 (問3)

回答者の性別 (図 2.1.2) は、「女性」の割合が 56.4%、「男性」の割合が 42.7%となっています。

居住地域別で見ると、全地域で女性の割合が男性より高くなっています。

母集団と比較すると、全地域で母集団より標本の方が「女性」の割合が高く、特にJR以南地域で母集団との差が大きくなっています。

図 2.1.2 性別



※令和4年度調査は回答者数、母集団は人口を表しています。

表 2.1.1 性別(居住地域別)

単位：%

区分	母集団			標本					
	人口 (人)	女性	男性	回答者数 (人)	女性	男性	その他	無回答	
全 体	302,139	52.2	47.8	1,176	56.4	42.7	0.2	0.8	
居住地域別	J R以南	28,339	51.8	48.2	99	62.6	39.4	0.0	0.0
	片山・岸部	43,832	51.5	48.5	161	51.6	47.8	0.6	0.0
	豊津・江坂・南吹田	58,402	50.0	50.0	221	56.6	43.4	0.0	0.0
	千里山・佐井寺	52,241	52.3	47.7	210	56.2	43.3	0.5	0.0
	山田・千里丘	65,582	52.7	47.3	248	56.5	42.7	0.0	0.8
	千里NT・万博・阪大	53,943	54.9	45.1	225	58.7	41.3	0.0	0.0
	無回答	—	—	—	12	25.0	16.7	0.0	58.3

### (3) 年齢 (問2)

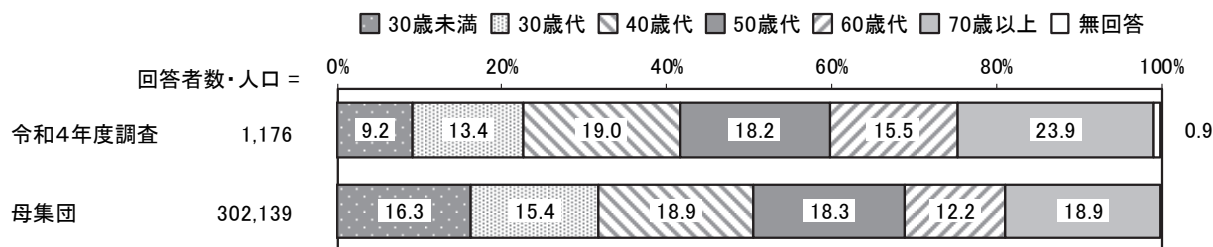
回答者の年齢 (図 2.1.3) は、「70 歳以上」の割合が 23.9%と最も高く、次いで「40 歳代」の割合が 19.0%、「50 歳代」の割合が 18.2%となっています。

性別 (表 2.1.2) でみると、女性・男性ともに「70 歳以上」の割合が最も高く、次いで女性では「40 歳代」の割合が、男性では「50 歳代」の割合が高くなっています。

居住地域別でみると、J R以南地域、片山・岸部地域、山田・千里丘地域、千里ニュータウン・万博・阪大地域で「70 歳以上」の割合が、豊津・江坂・南吹田地域で「40 歳代」の割合が、千里山・佐井寺地域で「50 歳代」の割合が最も高くなっています。

母集団と比較すると、母集団に比べ、標本で「30 歳未満」の割合が低く、「70 歳以上」の割合が高くなっています。

図 2.1.3 年齢



※令和4年度調査は回答者数、母集団は人口を表しています。

表 2.1.2 年齢(性別・居住地域別)

単位：％

区分		回答者数 (人)	30 歳未 満	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	無 回 答
標本		1,176	9.2	13.4	19.0	18.2	15.5	23.9	0.9
母集団		302,139	16.3	15.4	18.9	18.3	12.2	18.9	—
性別	女性	663	8.9	13.9	20.2	16.9	15.4	24.6	0.2
	男性	502	9.6	12.9	17.7	20.1	15.9	23.3	0.4
	その他	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	9	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	77.8
居住 地域 別	J R以南	99	12.1	13.1	14.1	13.1	15.2	31.3	1.0
	片山・岸部	161	8.7	16.1	18.6	16.1	15.5	24.8	0.0
	豊津・江坂・南吹田	221	15.4	16.7	19.0	18.6	12.2	18.1	0.0
	千里山・佐井寺	210	5.7	14.8	19.0	22.9	15.7	21.4	0.5
	山田・千里丘	248	7.7	10.9	20.6	16.9	17.7	26.2	0.0
	千里NT・万博・阪大	225	7.6	10.7	20.0	18.7	16.4	26.7	0.0
	無回答	12	0.0	0.0	8.3	16.7	8.3	0.0	66.7

## 2 職業、主な通勤・通学地

### (1) 主な職業（問4）

回答者の主な職業（表 2.2.1）は、「常時雇用されている一般従業者」の割合が 34.5%と最も高く、次いで「臨時雇用、パート、アルバイト、契約社員」の割合が 17.8%、「専業主婦・主夫」の割合が 17.3%となっています。

性別でみると、女性は「専業主婦・主夫」（29.7%）が最も高く、次いで「臨時雇用、パート、アルバイト、契約社員」（25.0%）となっています。一方、男性は「常時雇用されている一般従業者」（51.8%）が最も高く、次いで、「無職（学生、専業主婦・主夫を除く）」（20.1%）となっています。

年齢別でみると、50歳代以下は「常時雇用されている一般従業者」が最も高く4～6割台を占めています。また、60歳代は「臨時雇用、パート、アルバイト、契約社員」（30.2%）、70歳以上は「無職（学生、専業主婦・主夫を除く）」（41.3%）が最も高くなっています。

居住地域別でみると、全地域で「常時雇用されている一般従業者」が最も高くなっています。

※以下の集計では、用語を次のように使用します。

- ・常時雇用されている一般従業者：常時雇用者
- ・臨時雇用、パート、アルバイト、契約社員：臨時雇用者
- ・無職（学生、専業主婦・主夫を除く）：無職

表 2.2.1 主な職業(性別・年齢別・居住地域別)

単位：％

区分		回答者数 (人)	常時雇用者	臨時雇用者	派遣社員	内職	自営業主、 自由業者	家族従業者	経営者、 重役、 役員	学生	専業主婦・ 主夫	無職	無回答
全 体		1,176	34.5	17.8	1.0	0.1	4.8	0.8	3.8	3.9	17.3	15.0	1.4
性別	女性	663	21.6	25.0	1.5	0.2	3.2	1.1	2.1	3.8	29.7	11.2	0.8
	男性	502	51.8	8.6	0.4	0.0	7.0	0.4	6.2	3.6	1.2	20.1	0.8
	その他	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	9	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	77.8
年齢別	30歳未満	108	44.4	5.6	0.9	0.0	0.9	0.0	0.0	38.9	3.9	4.6	0.9
	30歳代	158	61.4	15.2	0.6	0.0	2.5	0.6	2.5	0.0	12.7	4.4	0.0
	40歳代	223	48.4	24.7	1.3	0.0	5.4	0.4	3.6	0.4	9.4	4.9	1.3
	50歳代	214	51.9	19.6	2.8	0.0	5.1	0.5	5.6	0.0	11.2	3.3	0.0
	60歳代	182	17.6	30.2	0.5	0.0	7.7	1.1	4.9	0.0	21.4	16.5	0.0
	70歳以上	281	2.8	9.6	0.0	0.4	5.0	1.4	4.3	0.0	33.8	41.3	1.4
	無回答	10	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0
居住地域別	J R以南	99	34.3	19.2	0.0	1.0	3.0	1.0	5.1	3.0	20.2	13.1	0.0
	片山・岸部	161	35.4	19.9	1.9	0.0	6.2	0.6	6.2	1.2	13.0	14.3	1.2
	豊津・江坂・南吹田	221	39.8	17.2	0.9	0.0	3.2	1.4	2.3	7.2	12.7	14.9	0.5
	千里山・佐井寺	210	32.4	16.2	1.0	0.0	7.6	0.5	3.3	1.9	22.4	14.3	0.5
	山田・千里丘	248	32.3	19.0	1.6	0.0	4.0	0.4	1.2	4.4	18.5	17.3	1.2
	千里NT・万博・阪大	225	34.7	17.3	0.4	0.0	4.4	0.9	6.7	3.1	17.8	14.7	0.0
	無回答	12	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	75.0

## (2) 主な通勤・通学地 (問5)

回答者の主な通勤・通学地 (表 2.2.2) は、「通勤・通学先はない」の割合が 26.7%と最も高く、次いで「吹田市」の割合が 23.9%、「大阪市」の割合が 23.3%となっています。

性別でみると、女性は「通勤・通学先はない」(32.1%)が最も高く、次いで、「吹田市」(27.1%)となっています。一方、男性は「大阪市」(33.5%)が最も高く、次いで、「通勤・通学先はない」(19.9%)となっています。

年齢別でみると、60歳代以上では「通勤・通学先はない」の割合が高くなっています。

居住地域別でみると、千里山・佐井寺地域で「通勤・通学先はない」(30.5%)の割合が最も高くなっています。

表 2.2.2 主な通勤・通学地(性別・年齢別・居住地域別)

単位：%

区分		回答者数 (人)	大阪市	吹田市	豊中市	箕面市	池田市	茨木市	高槻市	摂津市	大阪府内 その他の	京都府	兵庫県	その他	ない 通勤・ 通学先は	無回答
全 体		1,176	23.3	23.7	3.7	1.4	0.0	2.1	0.9	1.8	2.6	2.4	2.5	2.2	26.7	6.4
性別	女性	663	15.8	27.1	4.2	1.7	0.0	2.4	0.5	2.0	1.7	1.7	1.8	0.9	32.1	8.1
	男性	502	33.5	19.7	3.6	1.2	0.0	1.8	1.6	1.4	3.8	3.4	3.4	4.0	19.9	2.8
	その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	9	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	77.8
年齢別	30歳未満	108	25.0	20.4	10.2	0.9	0.0	4.6	1.9	0.9	7.4	10.2	5.6	5.6	7.4	0.0
	30歳代	158	41.1	23.4	5.1	1.9	0.0	1.3	2.5	1.9	2.5	1.3	0.6	0.6	15.2	2.5
	40歳代	223	26.9	31.8	4.9	1.3	0.0	2.7	0.9	2.7	2.2	2.7	4.5	2.7	13.5	3.1
	50歳代	214	33.6	22.9	5.6	2.8	0.0	1.4	0.9	2.8	4.2	3.7	3.7	2.8	11.2	4.2
	60歳代	182	15.9	29.7	1.6	1.1	0.0	4.9	0.0	1.6	2.2	0.5	1.6	3.3	33.0	4.4
	70歳以上	281	7.5	16.0	0.4	0.7	0.0	0.0	0.4	0.7	0.4	0.0	0.4	0.0	59.8	13.7
	無回答	10	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	80.0
居住地域別	JR以南	99	27.3	30.3	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	3.0	0.0	0.0	2.0	4.0	25.3	7.1
	片山・岸部	161	23.0	31.1	3.7	0.6	0.0	1.9	3.1	1.2	1.9	3.1	1.9	1.2	21.7	5.6
	豊津・江坂・南吹田	221	27.1	24.0	4.5	0.0	0.0	0.5	0.5	2.3	3.6	2.3	3.6	2.7	24.9	4.1
	千里山・佐井寺	210	27.1	20.5	5.2	1.0	0.0	1.0	0.5	0.5	2.9	1.0	1.9	2.4	30.5	5.7
	山田・千里丘	248	14.9	22.6	3.6	1.6	0.0	4.4	1.2	4.0	4.4	4.4	2.0	1.6	28.6	6.5
	千里NT・万博・阪大	225	24.4	20.4	4.4	4.4	0.0	3.1	0.4	0.0	1.3	2.2	3.1	2.2	28.0	5.8
	無回答	12	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	75.0

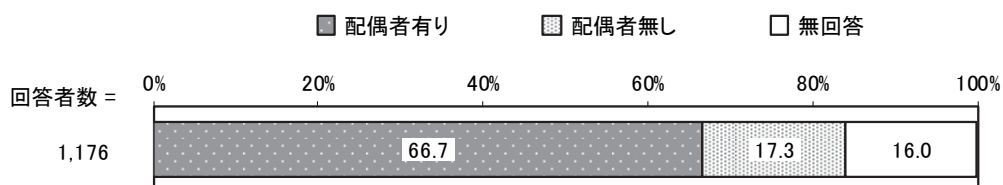


### 3 世帯人員（問6）

#### [配偶者の有無]

回答者の配偶者の有無（図 2.3.1）は、「配偶者有り」の割合が 66.7%、「配偶者無し」の割合が 17.3%となっています。

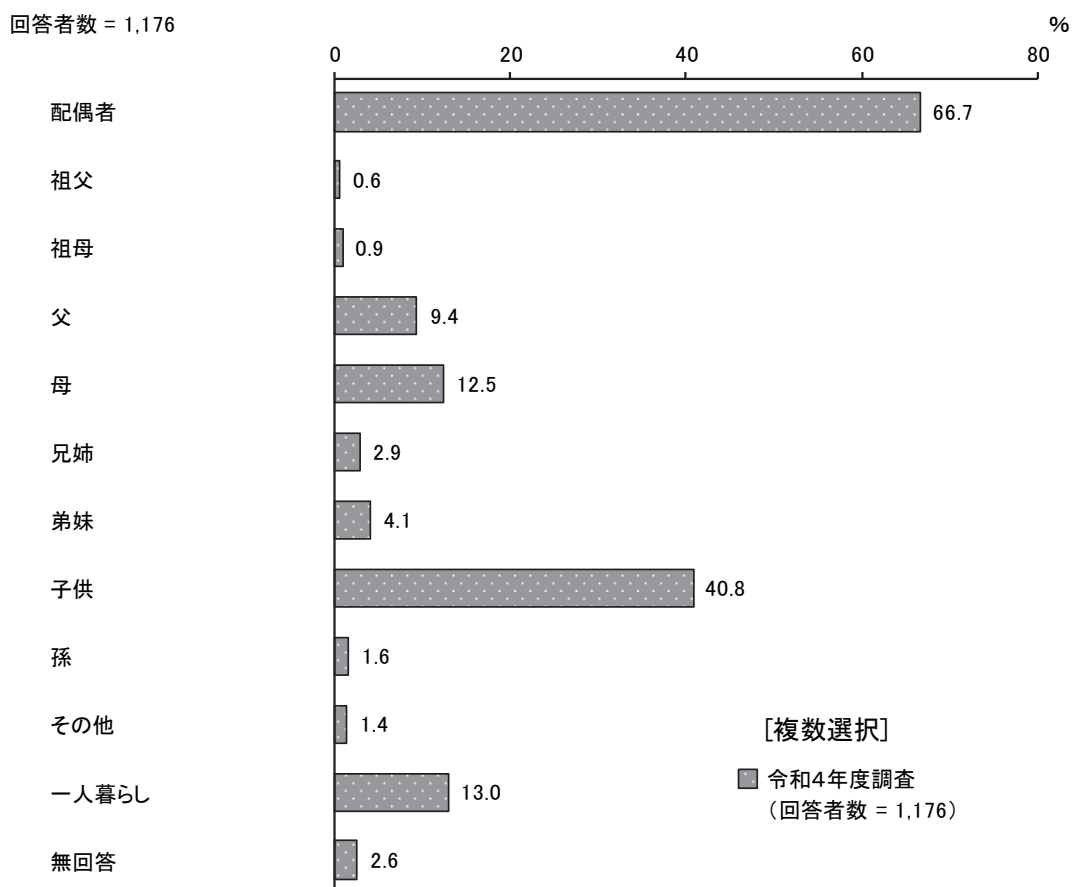
図 2.3.1 配偶者の有無



#### [同居家族の続柄別の有無]

同居家族の続柄別の有無（図 2.3.2）は、「配偶者」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「子供」の割合が 40.8%、「一人暮らし」の割合が 13.0%となっています。

図 2.3.2 同居家族の続柄別の有無



[同居家族の世帯人員]

回答者の同居家族の世帯人員（表 2.3.1）は、「2人」の割合が31.4%と最も高く、次いで「3人」の割合が23.7%、「4人」の割合が19.5%となっています。

居住地域別にみると、片山・岸部地域では「3人」「4人」の割合が高く、それ以外の全地域で「2人」が最も高くなっています。

表 2.3.1 同居家族の世帯人員(居住地域別)

単位：%

区分		回答者数 (人)	一人暮らし	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人以上	無回答
全 体		1,176	13.6	31.4	23.7	19.5	7.6	1.9	0.3	0.3	1.8
居住地域別	JR以南	99	18.2	30.3	26.3	13.1	6.1	2.0	1.0	2.0	1.0
	片山・岸部	161	12.4	23.6	25.5	25.5	5.6	2.5	0.6	0.0	4.3
	豊津・江坂・南吹田	221	17.6	31.2	23.1	16.3	6.8	2.3	0.0	0.9	1.8
	千里山・佐井寺	210	12.9	27.1	24.8	22.9	10.0	1.9	0.0	0.0	0.5
	山田・千里丘	248	10.5	33.7	23.4	21.8	7.7	1.6	0.4	0.0	0.8
	千里NT・万博・阪大	225	12.4	38.2	22.7	16.0	8.0	1.3	0.0	0.0	1.3
	無回答	12	16.7	41.7	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	25.0

## 4 家族構成（問7）

### （1）全体

回答者の家族構成（図 2.4.1）は、「夫婦と子供から成る世帯」の割合が 33.8%と最も高く、次いで「夫婦のみの世帯」の割合が 28.8%で、「核家族世帯」が全体の 66.1%となっています。

居住地域別（表 2.4.1）で見ると、千里ニュータウン・万博・阪大地域で「夫婦のみの世帯」の割合が高くなっています。

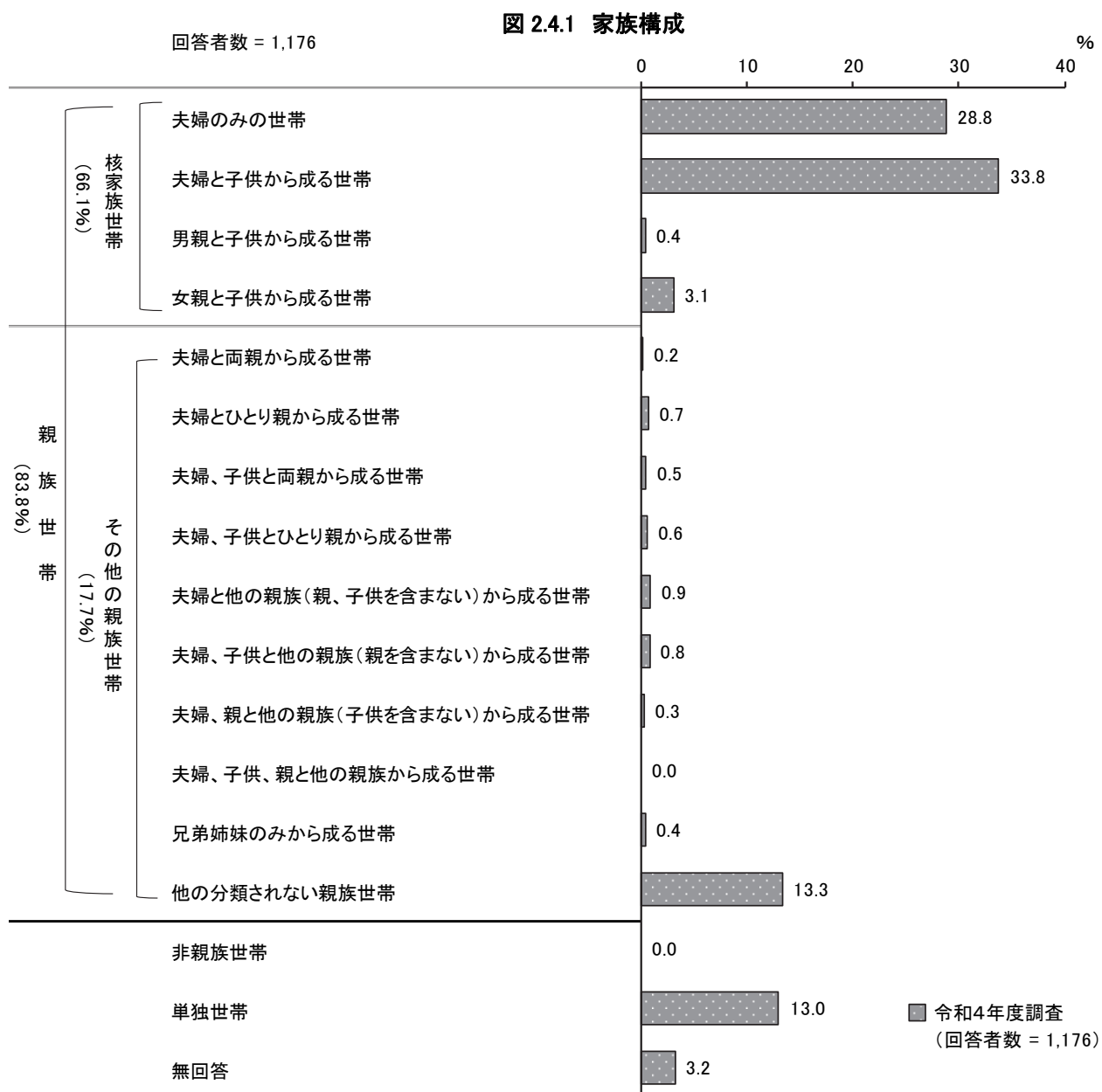


表 2.4.1 家族構成(居住地域別)

単位：%

区分	回答者数(人)	夫婦のみの世帯	夫婦と子供から成る世帯	男親と子供から成る世帯	女親と子供から成る世帯	夫婦と両親から成る世帯	夫婦とひとり親から成る世帯	夫婦、子供と両親から成る世帯	夫婦、子供とひとり親から成る世帯	夫婦と他の親族(親、子供を含まない)から成る世帯	夫婦と他の親族(親、子供を含まない)から成る世帯	夫婦、親と他の親族(子供を含まない)から成る世帯	夫婦、子供、親と他の親族から成る世帯	兄弟姉妹のみから成る世帯	他の分類されない親族世帯	非親族世帯	単独世帯	無回答
		全 体	1,176	28.8	33.8	0.4	3.1	0.2	0.7	0.5	0.6	0.9	0.8	0.3	0.0	0.4	13.3	0.0
居住地域別	J R以南	99	28.3	21.2	1.0	5.1	0.0	2.0	3.0	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0	16.2	0.0	18.2	2.0
	片山・岸部	161	19.3	43.5	0.0	1.9	0.0	0.6	0.6	1.9	1.2	0.6	0.0	0.6	11.8	0.0	12.4	5.6
	豊津・江坂・南吹田	221	28.5	26.7	0.5	3.2	0.5	0.5	0.0	0.0	1.8	0.9	0.0	0.0	15.8	0.0	16.7	4.5
	千里山・佐井寺	210	25.2	40.0	0.5	4.8	0.0	1.0	0.5	0.5	0.5	1.4	0.0	0.0	11.0	0.0	11.9	2.4
	山田・千里丘	248	31.5	37.9	0.4	1.6	0.4	0.0	0.4	0.4	0.8	0.4	0.4	0.0	13.7	0.0	9.7	2.4
	千里NT・万博・阪大	225	36.4	30.7	0.4	3.6	0.0	0.9	0.0	0.4	0.0	0.9	0.4	0.0	12.4	0.0	12.0	1.3
	無回答	12	33.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	16.7	25.0

## (2) 15歳未満の親族・65歳以上の親族がいる世帯

「15歳未満の親族がいる世帯」(図2.4.2)は、23.0%で、「うち、12歳未満の親族がいる世帯」は18.9%、「うち、6歳未満の親族がいる世帯」は、10.8%となっています。

一方、「65歳以上の親族がいる世帯」は27.6%で、「うち、75歳以上の親族がいる世帯」は13.5%、「うち、85歳以上の親族がいる世帯」は3.5%となっています。

居住地域別(表2.4.2)でみると、JR以南地域で「15歳未満の親族がいない世帯」(83.8%)の割合が最も高くなっています。

図 2.4.2 15歳未満の親族・65歳以上の親族がいる世帯

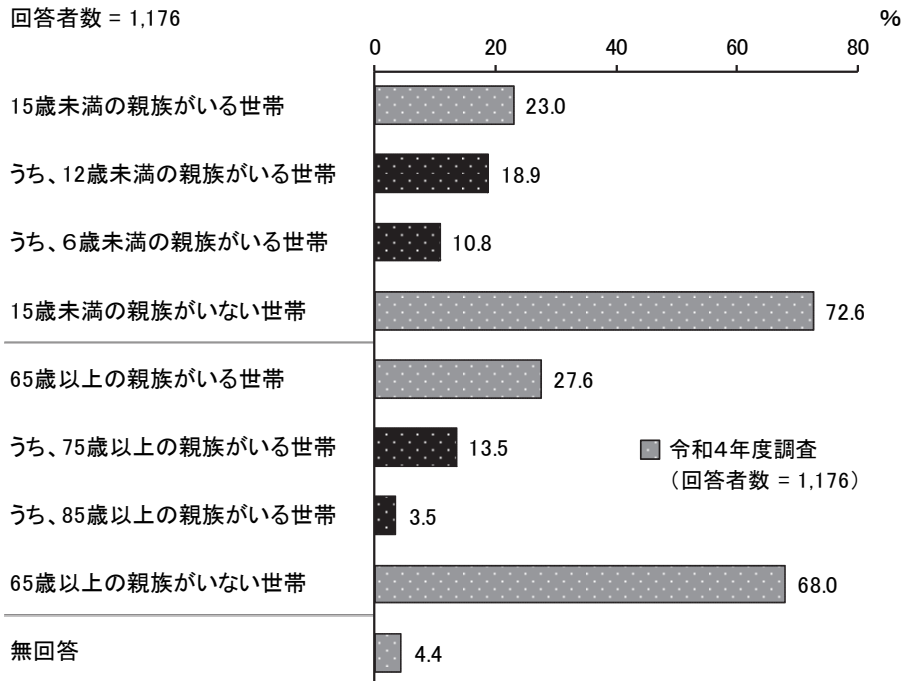


表 2.4.2 15歳未満の親族・65歳以上の親族がいる世帯(居住地域別)

単位：%

区分	回答者数(人)	15歳未満の親族がいる世帯			15歳未満の親族がいない世帯	65歳以上の親族がいる世帯			65歳以上の親族がいない世帯	無回答	
		うち、12歳未満の親族がいる世帯	うち、6歳未満の親族がいる世帯	うち、85歳以上の親族がいる世帯	うち、75歳以上の親族がいる世帯	うち、85歳以上の親族がいる世帯					
全体	1,176	23.0	18.9	10.8	72.6	27.6	13.5	3.5	68.0	4.4	
居住地域別	JR以南	99	13.1	11.1	7.1	83.8	34.3	20.2	6.1	62.6	3.0
	片山・岸部	161	25.5	23.6	14.3	70.2	27.3	11.2	4.3	68.3	4.3
	豊津・江坂・南吹田	221	21.7	17.2	10.4	72.4	19.9	10.0	0.9	74.2	5.9
	千里山・佐井寺	210	29.0	23.8	13.8	67.1	25.7	12.4	2.9	70.5	3.8
	山田・千里丘	248	23.0	16.9	10.1	73.4	31.9	15.7	2.8	64.5	3.6
	千里NT・万博・阪大	225	22.2	19.1	8.9	73.8	28.0	13.3	5.3	68.0	4.0
	無回答	12	0.0	0.0	0.0	75.0	50.0	33.3	8.3	25.0	25.0

## 5 世帯年収（問8）

回答者の世帯年収（表 2.5.1）は、「250～500 万円未満」の割合が 28.9%と最も高く、次いで「750～1,000 万円未満」の割合が 16.3%、「500～750 万円未満」の割合が 16.1%となっています。

居住地域別でみると、全地域で「250～500 万円未満」が最も高くなっています。

表 2.5.1 世帯年収(居住地域別)

単位：%

区分		回答者数 (人)	250 万円 未満	500 万円 未満	750 万円 未満	1000 万円 未満	1000 万円 以上	1500 万円 以上	わからない	無回答
全 体		1,176	14.2	28.9	16.1	16.3	10.4	4.7	7.1	2.4
居住地域別	JR以南	99	13.1	41.4	13.1	12.1	8.1	1.0	10.1	1.0
	片山・岸部	161	14.9	32.3	18.6	17.4	6.2	3.7	4.3	2.5
	豊津・江坂・南吹田	221	12.7	28.1	17.2	17.2	9.5	4.1	9.5	1.8
	千里山・佐井寺	210	13.8	24.3	19.0	17.1	12.9	3.8	7.1	1.9
	山田・千里丘	248	14.9	29.0	17.3	15.7	10.1	3.6	6.9	2.4
	千里NT・万博・阪大	225	15.1	26.7	10.7	16.9	13.8	8.9	5.3	2.7
	無回答	12	16.7	16.7	8.3	8.3	0.0	16.7	8.3	25.0

## 6 住宅の種類（問9）

回答者の住宅の種類（表 2.6.1）は、「持ち家（マンション）」の割合が 37.8%と最も高く、次いで「持ち家（一戸建て、タウンハウス）」の割合が 30.0%、「民間賃貸（マンション、アパート、文化住宅）」の割合が 18.7%となっています。

性別でみると、女性・男性ともに「持ち家（マンション）」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、40 歳代で「持ち家（マンション）」（41.7%）の割合が最も高くなっています。

居住地域別でみると、JR以南地域で「持ち家（一戸建て、タウンハウス）」（58.6%）の割合が最も高くなっています。

表 2.6.1 住宅の種類(性別・年齢別・居住地域別)

単位：%

区分		回答者数 (人)	持ち家 (一戸建て、 タウンハウス)	持ち家 (マンション)	民間賃貸 (一戸建て)	民間賃貸 (マンション、 アパート、 文化住宅)	公団・公社 (賃貸)	府営・市営 (賃貸)	社宅・寮	その他	無回答
全 体		1,176	30.0	37.8	1.7	18.7	4.4	3.0	2.3	0.9	1.3
性別	女性	663	28.8	39.7	2.0	16.4	4.7	4.2	1.8	1.1	1.4
	男性	502	32.1	35.3	1.4	21.7	4.0	1.4	3.0	0.6	0.6
	その他	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	9	11.1	22.2	0.0	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	33.3
年齢別	30歳未満	108	16.7	31.5	2.8	30.6	5.6	0.9	9.3	0.9	1.9
	30歳代	158	24.7	32.3	2.5	34.8	1.9	0.6	2.5	0.6	0.0
	40歳代	223	25.6	41.7	3.1	22.0	1.8	2.2	2.7	0.4	0.4
	50歳代	214	32.2	39.7	0.5	16.4	2.8	4.2	2.8	1.4	0.0
	60歳代	182	32.4	40.7	2.7	12.6	5.5	4.4	0.5	1.1	0.0
	70歳以上	281	38.8	37.7	0.0	8.2	7.8	3.7	0.0	0.7	2.8
	無回答	10	20.0	10.0	0.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	40.0
居住地域別	JR以南	99	58.6	12.1	0.0	17.2	1.0	1.0	4.0	5.1	1.0
	片山・岸部	161	41.0	24.8	5.0	21.7	0.6	1.9	1.9	0.6	2.5
	豊津・江坂・南吹田	221	28.1	29.9	1.4	33.7	0.5	0.5	5.0	0.0	0.9
	千里山・佐井寺	210	30.0	38.1	2.4	23.3	2.9	0.5	1.4	1.0	0.5
	山田・千里丘	248	23.4	58.5	0.4	13.3	0.8	1.2	1.6	0.4	0.4
	千里NT・万博・阪大	225	19.6	43.6	1.3	4.4	17.8	11.6	0.9	0.0	0.9
	無回答	12	16.7	25.0	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	8.3	33.3

## 7 居住地域別特性

表 2.7.1 居住地域別町名分類

地 域 名	町 丁 名
J R以南 地域	朝日町、内本町、川岸町、川園町、寿町、幸町、昭和町、吹東町、末広町、清和園町、高城町、高浜町、中の島町、西御旅町、東御旅町、日の出町、平松町、南正雀、南清和園町、南高浜町、目俵町、元町
片山・岸部 地域	朝日が丘町、片山町、上山手町、岸部北、岸部新町、岸部中、岸部南、芝田町、天道町、出口町、西の庄町、原町、藤が丘町、山手町
豊津・江坂・南吹田 地域	泉町、江坂町1～4丁目、江の木町、金田町、垂水町、豊津町、広芝町、穂波町、南金田、南吹田、芳野町
千里山・佐井寺 地域	江坂町5丁目、春日、佐井寺、佐井寺南が丘、五月が丘北、五月が丘西、五月が丘東、五月が丘南、千里山霧が丘、千里山高塚、千里山竹園、千里山月が丘、千里山西、千里山虹が丘、千里山東、千里山星が丘、千里山松が丘、竹谷町、円山町
山田・千里丘 地域	青葉丘北、青葉丘南、檜切山、清水、尺谷、新芦屋上、新芦屋下、千里丘上、千里丘北、千里丘下、千里丘中、千里丘西、長野西、長野東、山田市場、山田北、山田西、山田東、山田南
千里ニュータウン・万博・阪大 地域	青山台、上山田、佐竹台、千里万博公園、高野台、竹見台、津雲台、藤白台、古江台、桃山台、山田丘





图 2.7.1 居住地域別町名分類図

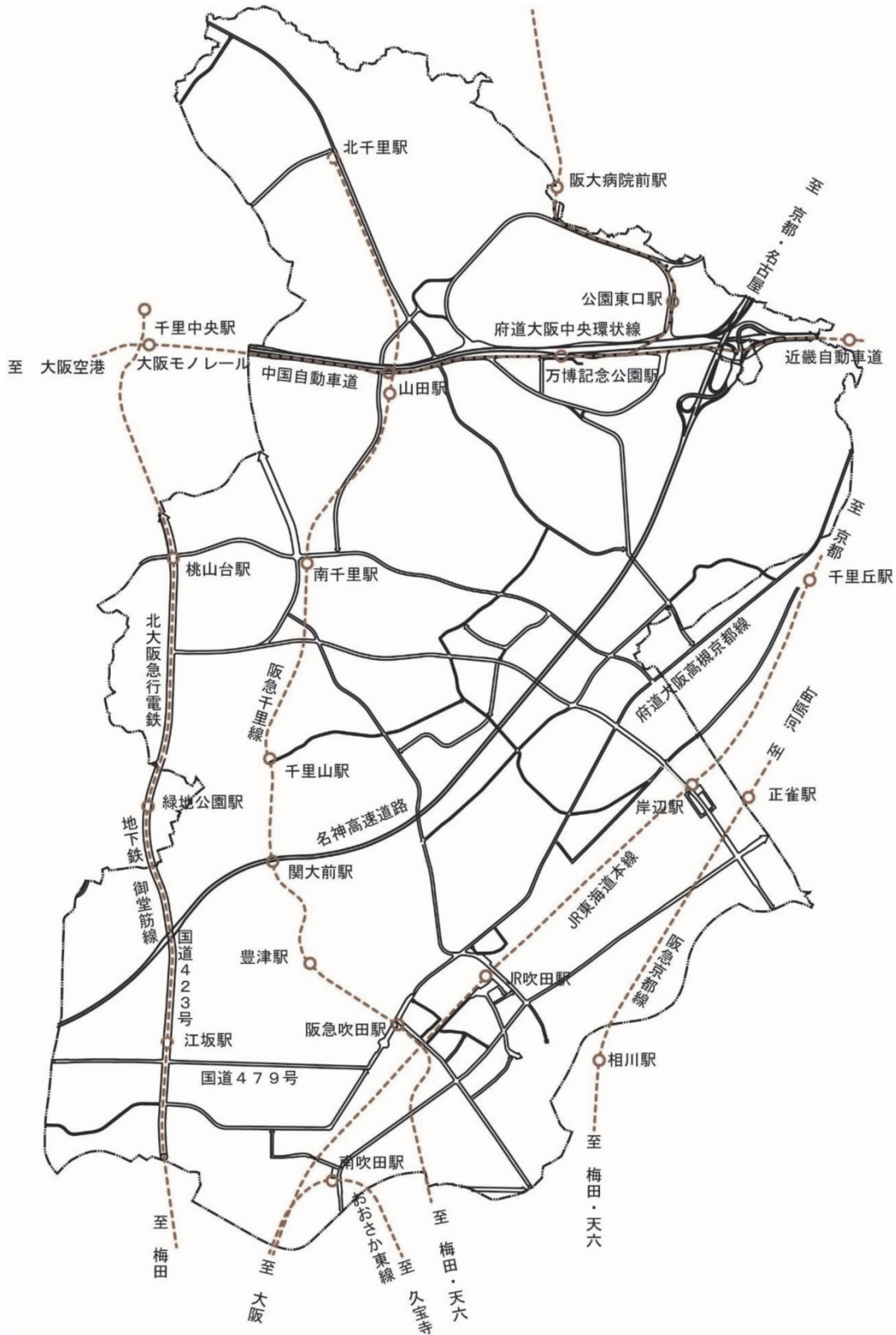


図 2.7.2 調査地域内路線図

表 2.7.2 居住地域別指標

(番号)		(単位)	J R以南地域	片山・岸部地域	豊津・江坂・南吹田地域	千里山・佐井寺地域	山田・千里丘地域	阪大地域 千里ニュータウン・万博・	計
1	地域面積	ha	379.1	530.7	535.2	473.0	544.9	1,146.1	3,609.0
2	水面面積		26.8	4.4	11.6	1.2	3.5	17.0	64.5
3	社寺敷地・公開庭園面積		3.2	1.4	0.7	1.8	5.4	0	12.5
4	道路・鉄軌道敷面積		43.6	62.6	43.3	19.2	42.2	82.4	293.3
5	公園面積		10.1	19.1	18.0	5.5	14.5	263.8	331.0
6	文化・交流関係施設	箇所	3	3	4	1	4	13	28
7	子育て支援・社会福祉関係施設		16	24	15	16	26	27	124
8	社会教育関係施設		10	12	7	7	16	8	60
9	事業所 第一次産業		0	1	0	2	2	0	5
	第二次産業		200	154	567	100	160	84	1,265
	第三次産業	1,363	1,192	3,971	1,222	1,234	1,274	10,256	
	合計	1,563	1,347	4,538	1,324	1,398	1,358	11,526	
10	従業員数 第一次産業	人	0	19	0	14	5	0	38
	第二次産業		3,138	1,471	7,775	538	1,126	541	14,589
	第三次産業		12,942	17,209	51,205	9,205	11,744	27,661	129,966
	合計		16,080	18,699	58,980	9,757	12,875	28,202	144,593

(注)

1 の面積は令和 3 年（2021 年）版「吹田市統計書」P.11～P.15（総務室・市民課）による。

2～4 の面積は令和 2 年度（2020 年度）「土地利用現況調査」（都市計画室）による。

5 の面積は令和 4 年（2022 年）3 月 31 日現在の広域公園・都市公園・緑地の合計（公園みどり室資料による）

6～8 は令和 3 年（2021 年）3 月 31 日現在、市が管理・運営等を行なっている施設

6 の文化・交流関係施設はコミュニティ・人権・勤労者施設等

7 の子育て支援・社会福祉関係施設は児童・障がい者・高齢福祉施設等

8 の社会教育関係施設は公民館・図書館・スポーツ施設等

9、10 の事業所数、従業員数は、平成 28 年（2016 年）「経済センサスー活動調査」（総務省統計局）による。